



# 三菱電機パッケージエアコン別売部品 横吊り金具 PAC-SK79LK 据付工事説明書

## 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に渡していただくように依頼してください。



### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



### 注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。



### 警告

お客様ご自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- お買上げの販売店又は専門業者に依頼してください。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

改造は、絶対にしない。

- 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付工事事用品は、必ず当社付属部品及び指定の部品を使用する。

- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

## 据付(移設)工事をする前に



### 注意

据付台などが痛んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。
- PPJノットなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをすることがありますので保護具をご使用ください。

お客様ご自身で塗装はしない。

- 性能を著しく低下させたり、部品破損などの原因になります。
- 塗装は、お買上げの販売店にご相談ください。

配管接続部には点検口を設置する

- 天井内及び埋設配管の接続部には、点検が可能なように点検口などを設けてください。

エアコンを水洗いしない

- 感電・発火などの原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 高周波を発生する機械を使用
- 塩素系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、するところ
- 機器に影響する物質の発生するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用
- 機械油を使用するところ
- 使用するところ
- 車両・船舶など移動するものへの設置
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ
- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

## 1. 部品の確認

(この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。)

品名	①横吊り金具	②ワッシャー
個数	4	8
形状		

## 2. 横吊り金具の取付け

### 作業手順

- 【図1】の寸法に従い、横吊り金具①を取り付けるためのCチャンネル又はLチャンネルを設置してください。
- 横吊り金具①をCチャンネル又はLチャンネルに固定してください。  
※固定する際はW3/8又はM10のボルト、ナット、ワッシャー(現地手配)を用いて各2箇所固定してください。  
※横吊り金具①の固定穴の位置は【図3】をご確認ください。
- 吊ボルトを横吊り金具①の穴に通した後、取付向きに注意して図のようにナット、ワッシャー②で仮固定してください。【図2】  
※ダブルナットの締付けは仮締めにしてください。本締めしていると室内ユニット据付作業が難作業になります。  
※横吊り金具①の固定穴の位置は【図3】をご確認ください。
- 吊ボルトへ室内ユニット付属のナット、ワッシャーを取付け、室内ユニットの据付けを行ってください。詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご確認ください。
- 3で仮締めしていたナットを本締めし、吊ボルトのガタつき無きよう固定してください。

#### お願い

吊ボルト固定部の締付けは確実に行ってください。  
仮締めのままだと室内ユニットが落下するおそれがあります。

- 化粧パネルの据付けを行ってください。  
詳細は化粧パネルの据付工事説明書をご確認ください。

